

学習期	内容	徹底事項	下石神井地域の子供たちに身に付けさせたい力				カリキュラム改善の視点
			内容項目	身につけさせたい力		具体的な曲名とめあて	
I期	小学校第1学年	基礎的な表現の能力を育て、音楽表現の楽しさに気付くようにする。	A表現 (2)イ 楽曲の気分を感じ取り、思いをもって演奏すること。	器楽 楽曲の気分を感じ取り、それを表現に生かし、思いをもって演奏する力。	共通事項 ア) 音色、リズム、速度、旋律、強弱、拍の流れ、フレーズ イ) 身近な音符、休符、記号や音楽にかかわる用語		<p>「まほうのど」…4種の伴奏の雰囲気やイメージに合わせて多様な表現を実感させる。 「すずめがちゅん」…それぞれの動物にふさわしい速さ、音の高さ、音の長さなどで演奏する。 「おもちゃのチャチャチャ」…歌詞の表す情景を思い浮かべ、言葉とリズムの関わりを意識しながら、表現を工夫し、どのように演奏するかについて自分の考えや願いをもつ。</p>
	第2学年				<p>「もりのたんけんたい」…歌に合う音色を聴き取り、イメージに合う楽器で表現の工夫をして演奏する。 「こぎつね」…反復を生かし、速度や強弱を工夫して、情景を音楽で表す。 「おしゃべり音楽時計」…音の重なりや面白さを感じ取り、表現を工夫して時計の音楽を作る。</p>		
	第3学年	基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取るようにする。	A表現 (2)イ 曲想にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって演奏すること。	器楽 曲想を感じ取り、それを表現に生かし、思いや意図をもって演奏する力。	音の重なり 音階や調	イ) 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語	<p>「にじ色のふうせん」…様々な伴奏を聴きながら、リコーダーの美しい響きを味わう。 「まほうのチャチャチャ」…リズムや旋律の反復や重なりを感じて演奏したり聴いたりする。 「聖者の行進」…パートの役割を理解し、旋律の流れや音の重なりを生かして演奏する。</p>
	第4学年						<p>「ハローサミング」「もののけ姫」…曲のイメージに合ったリコーダーの音色を生かした二重奏 「ラ・クンパルシータ」…旋律の掛け合いやパートの役割を生かしたグループアンサンブル 「魔法のすず」…パートに合う楽器を選んだり、音色の組み合わせを工夫したりしながら、アンサンブルを楽しむ。</p>
II期	第5学年	基礎的な表現の能力を高め、音楽表現の喜びを味わうようにする。	A表現 (2)イ 曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって演奏すること。	器楽 表現を工夫する手掛かりを音楽を形作っている要素やそれらの働きに求める力。	和声の響き		<p>「こきょうの人々」…低音や和音の響きを感じながら、イメージに合った伴奏形の工夫をする。 「星笛」…旋律のかけ合いや音の重なりを感じながら、曲のイメージに合う表現を工夫する。 「風とケーナのロマンス」…曲想を生かした表現を求め、グループで互いの考えや思いを出し合い、演奏を工夫する。 「ゴジラ」「ルパン三世のテーマ」…音楽を形づくっている要素のはたらきや、曲想の変化を感じ取り、友達とそれらを生かした表現の工夫をしながら演奏する。</p>
	第6学年						<p>「マルセリーノの歌」…旋律や和音から長調や短調の響きの変化を感じ取って演奏する。 「カノン」…旋律の動きや重なりを聴き合ってグループごとにアンサンブルを楽しむ。 「スワンダフル」…スウィングのリズムの特徴に合った表現の工夫を楽しむ。 「越天楽今様」…雅楽に近い表現の工夫を試し合奏する。</p>
III期	中学校第1学年	多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を育てる。	A表現 (2)ア 曲想を感じ取り、表現を工夫して演奏すること。	歌唱・器楽 歌詞の内容やテクスチャ(音の重なりなど)の働きがもたらすハーモニーの美しさを感じ取り、それらが生み出す曲想や魅力を生かして表現を工夫する力。	ア) 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成 イ) 音楽を形づくっている要素とそれらの働きを表す用語 拍、拍子、間、序破急、フレーズ、音階、調、和音、動機、 Andante/Moderato/Allegro/rit./ a tempo/accel./legato/dim./D.C./D.S./	<p>「HEIWAの鐘」…歌詞の内容やハーモニーを味わい、その言葉や曲想を聞き手に届けるような歌い方を工夫する。 「エーデルワイス他」…テクスチャの働きがもたらすハーモニーの美しさを感じ取る。 「My meiody」…音階の特徴を感じ取り、表現を工夫して簡単な旋律をつくり、楽器で演奏する。</p>	<p>◎集団指導の中にも、機動的に個別補充指導を行い、生徒同士の異なる個性を意識させる。</p> <p>◆思いや意図をもって表現するために◆ ○授業の導入では必ず呼吸や頭声発声の練習を行い、美しい発声を心掛けさせる。 ○音楽を形づくっている諸要素について、適切に選択し関連づけて指導する。</p>
IV期	中学校第2学年	多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。	A表現 (2)ア 曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して演奏すること。	歌唱・器楽 歌詞の内容やユニゾンや和声的・多声的な音の重なりを理解し、それらが生み出す曲想や魅力を生かして表現を工夫する力。			<p>◆2年◆ 「時の旅人」…歌詞の内容やユニゾンや和声的・多声的な音の重なりを理解し、その言葉や曲想を聞き手に届けるような歌い方を工夫する。 「さくらさくら他」…楽器の音色や奏法、音の重なりによって生み出される味わいを感じ取り、それぞれにふさわしい表現を工夫する。 「Let's Create !」…アンサンブルの素材となる言葉の抑揚やリズムを感じ取り、反復、変化、対照などの構成を理解して表現を工夫する。</p>
	中学校第3学年						<p>◆3年◆ 「花、花の街他」…楽曲の特徴や音楽を形づくっている要素を知覚し、それにふさわしい発声や歌い方を工夫し、曲想や魅力を生かして歌唱表現をする。 「荒城の月」…曲にふさわしい工夫をして楽器を使って表現する。 「大地讃頌」…混声四部の重厚なハーモニーを味わい、全体の構成を理解して表現を工夫する。</p>